

# よく飛ぶ ふわふわ飛行機&くるくるリボン



科学教育ボランティア(埼玉県) 小森 洋

## ●どんな工作・実験なの?

薄くスライスした発泡ポリスチレンのシートと赤い円形シールを使ってふわふわとゆっくり飛ぶ飛行機(グライダー)や、くるくと回りながらゆっくり落ちるリボンを作ります。

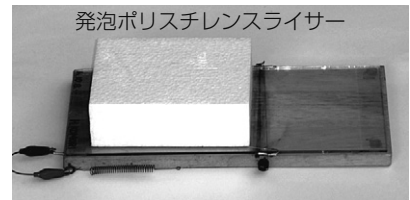
## ●工作・実験のしかたとコツ

### 【用意するもの】

発泡ポリスチレン板、赤い円形シール、ニクロム線、発泡ポリスチレンスライサー、電源、型紙を印刷した上質紙

### 【I. ふわふわ飛行機】

(1)ニクロム線を用いたスライサー(写真右)で発泡ポリスチレンの薄い(約0.6mm)シートを作ります。



(2)シートを2つに折って型紙をはさみ込みます。

(図①②③④)

(3)透けて見える型紙と一緒にシートをはさみで切ります。(図⑤)

※シートを曲げないように注意しましょう。

(4)開いて机の上に伏せ、先端に赤い円形シールを2つ貼ります。(図⑥)

(5)主翼の付け根付近を持ち、手を高く伸ばして高い所から水平かやや下向きにして静かに放して飛ばします。

(6)尾翼(しっぽ)をわずかに上か下に反らせて、よく飛ぶように調整します。

※羽根(主翼や尾翼)を持つと変形して、うまく飛ばなくなってしまいます。

※釣りざおなどの先に乗せて高く上げて振り放すと、長い時間の滞空が楽しめます。

※上昇気流に乗ると、どんどん高く上がって見えなくなることがあります。

### 【II. くるくるリボン】

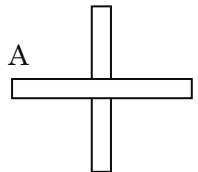
(1)2本のリボンを十字型に重ねます。(図A)

(2)リボンが離れないようにシールを2つ貼ります。(図B)

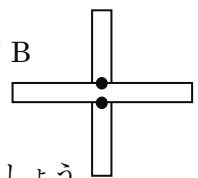
(3)中央を2本の指で水平に持ち、高い所から放します。

(4)くるくる回りながらゆっくり落ちるようにリボンのひねりを調整します。(図B)

図A



図B



## ●気をつけよう

・道路では飛ばさないようにしましょう。

・発泡ポリスチレンをスライスするとき、ニクロム線に触れないように注意しましょう。

## ●もっとくわしく知るために

・永松光洋著:「ふわふわ、不思議、紙ヒコーキ」 二見書房(1996)